

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期浦幌町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道十勝郡浦幌町

3 地域再生計画の区域

北海道十勝郡浦幌町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、昭和35年の14,150人をピークに減少しており、住民基本台帳によると令和6年には4,108人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、令和32年には総人口が2,000人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は昭和50年の2,743人から令和2年には425人と著しく減少している一方、老年人口（65歳以上）は昭和50年の832人から令和2年には1,865人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も昭和50年の6,778人をピークに減少傾向にあり、令和2年には2,097人となっている。

自然動態をみると、出生数は死亡数を上回っていた平成5年の72人から、令和6年には18人となっている。その一方で、死亡数は平成5年の68人から令和6年には77人とほぼ横ばいの状態が続いており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は59人（自然減）となっている。

社会動態をみると、転入者は昭和52年の532人をピークに減少し、令和6年には149人となっている。しかし、転出者は令和6年で176人と、都市部への就職・進学等による理由で町外への人口流出に歯止めがかからず、転入者数から転出者数を差し引いた社会増減は27人（社会減）となっている。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴

う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、町の特性である第一次産業の強み、若い世代の転入傾向、地域資源の豊かさを生かし、持続可能で魅力ある地域社会の実現を目指す。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 安心して暮らせる持続可能なまちづくり
- ・基本目標2 地域資源を生かした稼ぐ力の創出
- ・基本目標3 多様な人が集い、学び、活躍できる地域社会

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	出生数(累計)	67人	175人	基本目標1
イ	新規創業・第二創業者数(累計)	16事業者	20事業者	基本目標2
ウ	「子どもの思い実現ワークショップ」の延べ参加者数	71人	140人	基本目標3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府)：【A2007】

① 事業の名称

浦幌町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 安心して暮らせる持続可能なまちづくり事業
- イ 地域資源を生かした稼ぐ力の創出事業
- ウ 多様な人が集い、学び、活躍できる地域社会事業

② 事業の内容

ア 安心して暮らせる持続可能なまちづくり事業

人口が減少しても、地域コミュニティや日常生活に不可欠なサービスを維持するための将来を見据えた地域の拠点づくりや、交通・医療・介護・子育てなど生活必需サービスの維持に努めるとともに、防災力・防犯力の向上や交通安全の推進、気候変動対策などに取り組み、すべての町民が安心して暮らせるまちを目指す。

また、地域力向上に向けた地域コミュニティ活動の推進や、人や企業・団体、町の協働によるまちづくりを推進する。

【具体的な事業】

- ・子育て・福祉・防災で支える安心のまち
- ・未来へつなぐまちの基盤づくり
- ・快適に暮らせるまちの環境と生活インフラの充実 等

イ 地域資源を生かした稼ぐ力の創出事業

本町の基幹産業である農林水産業の基盤強化と安定化を図るだけでなく、農林水産業を軸に、加工・販路開拓・新産業創出を進めるなど、六次産業化への展開を強化し、地域資源を最大限活用した高付加価値化を図り地域の稼ぐ力を高めることを目指す。

【具体的な事業】

- ・地域資源を磨き、稼ぐ力を高めるまち
- ・一次産業の革新と新しい産業づくり
- ・まちを支える産業・雇用・人材の持続的発展 等

ウ 多様な人が集い、学び、活躍できる地域社会事業

若者や女性が活躍できる環境を整備するとともに、都市と地方の交流を深めることで、地域に新たな人の流れと好循環を生み出す。

また、本町独自の教育プログラムである「うらほろスタイル」の更なる深化を進め、効果的なPR活動を推進するなど、これらの取組を通じ

た“うらほろ”の認知度向上を図り、関係・交流人口の拡大を目指す。

【具体的な事業】

- ・人と人がつながり、育ち合うまち
- ・多様な人材が輝く、交流と共創の地域社会 等

※なお、詳細は第3期浦幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

500,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月頃に浦幌町まちづくり計画の審議組織である浦幌町総合振興計画審議会において評価検証を行う。検証結果については、審議会の会議記録等により本町ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで